米村　和雄　議員

「マニフェストについて」

問　三角小学校、不知火中学校等の建設をした。少子高齢化の時代、子どもたちは宇城市を担う宝である。その子どもたちに素晴らしい環境の中で勉強できるように整備するのは我々議会の責務であると思う。どの物件が必要でなく、またどの物件を利便性がないとお考えなのか伺いたい。

市長　合併効果を最大限に活かし、補助事業と組合わせ合併特例債事業を実施されたことは評価すべきと考える。しかし、昨今の経済状況やこれからの財政状況を考えた時、事業を矢継ぎ早に行うことが果たして必要であったのか。もっと慎重に進めるべきではなかったのかと考える。

問　商工業の振興について、その発展のための施策を伺いたい

市長　中小企業の商工業振興に取り組むことが、宇城市の産業振興、発展につながると考える。そのためには、国の本年度予算で実施予定の地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業で実施可能な方策はないかと検討している。

経済部長　商工業の発展は基幹産業である農業振興を図ることと考える。農業が元気になれば、地元商店街で消費し、中小企業が潤う。そういう循環サイクルが必要であると思う。

問　戸馳大橋について、今回修繕費等の予算が計上されているが、今後の計画はどうなっているのか。

土木部長　補修及び架替え案の事業計画を設定する。そのために2年間調査した結果を踏まえて、規制解除の検討、耐震調査を行い、事故を未然に防ぐ措置をしていく。

「不正経理について」

問　旧町道拡張に提供した土地が未登記のままになっている。三角町5件、不知火町2件、小川町7件、豊野町9件そして松橋町163件のあわせて186件。これらを処理するために登記、測量、人件費まで含めると1億円以上かかる。特に松橋町では合併前の16年65件、15年6件、14年8件、13年10件上がっている。未登記専従班を結成して、早急に解決してほしいと思うが、どうか。

市長　問題点を十分把握して早急に解決するようベストを尽くす。

土木部長　道路用地売買契約書に基づき所有権登記を行い、土地代を支払うのが原則であるにもかかわらず、所有権登記がなされていないのが判明した。これは重大な問題である。今年度より2000万円を予算計上して対処していく。そのために、未登記専従班を設け、毎年継続して、未登記の解消を図っていく考えである。

問　当時の関係者を参考人として呼んで、真相究明をするために、百条調査委員会の設置をお願いしたい。

徳永　雄一　議員

「市長のマニフェストとの整合性について」

市道南豊崎中通り線

問　宇城市財政が破綻する、明日の夕張市になるという財政問題を最大の争点として勝ち上がって来られた市長は、物産館に隣接する予定だったホテルは民と民の契約でありながら、ホテルが撤退したからといって、あまりにも無目的拙速な民有地の買上げ提案である。悪しき前例は断じて創るべきではない。もう少し時間をかけて知恵を出すべきと思う。また、お手盛りと言われても仕方ない議会専用車の購入提案は納得できない。この二つの提案は、不要不急なものをしないと言った市長のマニフェストとの整合性がつかないと思うが、どのように考えているのか。

市長　物産館の問題は前市長が計画し、議会で承認をされて執行している。7人の農家の方々の大変重要な土地を登記せずに、市はどんどんと仕事を進めていることに私は責任を感じている。阿曽田前市長が計画したことは立派なことで、これをしっかりやり遂げるのが私の責任だと思っている。公用車については、各県から本市への調査や色んな計画、現場視察などがあるため必要と考えたが、議員の皆様が必要なしと言えば、取り下げる用意がある。

議会事務局長　本市では議会事務局を窓口として、議員の行政視察の受入を行っている。主にJRを交通手段として利用されるため市役所までは公用車での送迎が必要となる。しかし、ワゴン車使用が他課と重複し、不便を来たすことから必要性を感じ、予算要求した。

問　ホテル用地の件は、買い上げるなということではなく、買い上げることを前提にせず、民と民の契約が成される形にすべきである。

「豊福南部農業集落排水事業について」

問　PFI手法での取組から従来手法による指名競争入札に変更するとのことだが、どのような方法での発注、入札を考えているのか。

市長　今回の工事は大きな仕事になる。市全体の建設業が心を一つに対応しなければ工期的に間に合わないと考えている。建設業の皆さんにその趣旨ははっきり伝えている。

問　手法も二転三転し供用開始が遅れ、翻弄された地域住民としては平成25年1月がタイムリミットである。その担保をどう考えているのか。

市長　地元及び議会の方々の力を借りながら職員、業者の方々と一緒になってやり遂げる。

豊福南部農業集落排水事業処理場建設予定地

大嶋　秀敏　議員

「小中一貫教育について」

問　豊野小中学校に一貫教育がなぜ必要なのか。

教育委員長　二つの面で必要性を考えている。一つは豊野小中学校の学力充実、あと一つは、生徒指導面で特に不登校対策を充実させ、不登校を減らす意味で一貫教育が必要と教育委員会はとらえている。全国学力テストの結果は小学校では全国平均で、中学校では若干下回っている。不登校は全国的に増加傾向にあるが宇城市も同じである。豊野小中学校は全国平均の2倍から3倍の数値を示しており、宇城市の中でも突出している。

問　一貫教育の推進について教育委員会では、昨年の12月保護者やPTAの方を対象に説明会を開催され、今年の2月に一貫校の先進地を研修された。そして、5月に豊野町嘱託員全員の賛同を得て、嘱託員の代表者と議員で篠崎市長、末松議長に施設一体型の一貫教育をお願いに行った所である。そこで、市長の思いをお聞きしたい。

市長　小中一貫教育については、豊野小学校の校長先生と話す機会があり、学校の課題や取組の様子を伺う中で必要性を痛感した。学力向上だけでなく不登校対策など生活、生徒指導面を考え合わせると施設一体化で整備した方が効果を発揮すると思う。

「アグリパークについて」

問　松橋町に道の駅が来年4月にオープンすることで赤字になった場合、どう対処するのか。また、アグリパークでは、メロン生産者が農協の園芸部会の許可なしでは出荷できないが、松橋の道の駅はどうするのか。

市長　競合する施設であり、経営安定のためできる限り支援をしていく。また各支所から大丈夫と報告を受けており、アグリの職員、経営者と話をした中で、私も大丈夫と思っている。

経済部長　農協は各生産部会と協議を重ね共販体制が崩れない方向で、共販ものを早く物産館などで販売できる体制を取りたい。市としては生産部会の理解の中で早く販売できるよう要望していきたい。

問　支配人は公募されるのか。また、支配人が決まり次第、支配人研修をさせるのか。

市長　私自身、公募はしない考えである。支配人次第でアグリパーク全体の浮揚につながるので良い方にめぐりあえればと思っている。支配人になられた方は研修を受けて、頑張ってもらいたい。

山岡　祥二　議員

「豊野小学校の改築について」

豊野の新鮮な産物がならぶアグリパーク

問　本校は、市内の小学校の中で最も古く、耐震基準に満たない校舎に位置付けされている。改築をお願いしたいが、市長の意見を伺う。

市長　本年度は、地域の皆様のご意見を伺いながら基本設計、22年度に実施設計、